

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	CONTRAIL			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの活動スペースが十分に確保されている。 ・契約時の説明が十分になされている。 ・日ごろから、保護者と施設職員で子どもの情報を十分に伝え合い、情報共有ができています。 ・子どもが通所を楽しみにしている。	・送迎時、しっかりと子どもの様子を伝えることができるよう、意識して様子を観察している。 ・遊びをベースにした支援を心がけている。	・全ての子どもが安心して通所できるよう、子どもや保護者のニーズを把握し、充足につとめる。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設のバリアフリー化がなされていない。 ・地域の他のこどもと活動する機会が少ない。 ・家族支援プログラム等の提供機会が少ない。 ・事故防止マニュアル等の説明がない。	・施設が2階のため、階段がある。 ・コロナ等の感染症が広がる恐れがあるため、地域のこどもとの活動は控えている。	・積極的に家族支援プログラムや事故防止マニュアルを周知していく。
2			
3			